

令和3年度

さいたま市立岩槻中学校だより

11月号 (令和3年11月2日発行)



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mail：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp

実りの秋 ～人が集まる大切さ～

校長 松戸 政世史

鮮やかな紅葉の候、8月26日に始まった2学期も、教育課程や多くの学校行事に取り組み、体育祭を残すのみとなりました。教師、生徒、保護者の連携で実現してきた主なものを振り返りながら、そのよさを共有し、今後の教育活動に活かして実施させていきたいと思っておりますので、保護者、地域の方々のご理解、ご協力をよろしく申し上げます。

8月26日、2学期始業式。各教室の生徒へ、テレビ動画でライブ配信するが、音量が小さく、放送のみで実施する。医療従事者の方々への「感謝」と東京オリンピックから学んだ「多様性と包摂性」のことに話しました。最後に、**2学期のキーワード「笑顔」**を伝え、言霊（ことだま）の力で、みんなで「笑顔、明るい笑顔」と言い続けていると、本当に、「笑顔」の人が増えるということで、一人ひとりが「責任感」を持って行動し、「笑顔」で生活していこうと呼びかける。

8月27日からオンライン授業開始。ネットに繋がらないなど、トラブルの対応も多いなか、先生方は、対面授業と同時進行で、オンライン授業を希望する生徒向けに、毎週火曜日と金曜日に配付するプリントづくりも作成しながら、オンライン授業の不便さを最小限に抑えるように取り組む。

8月30日、さいたま市いじめシンポジウム。大河内コミュニティ・スクール委員長や小川生徒会長、清水副会長、松崎生徒会担当がオンラインで参加し、岩槻中の意見として報告する過程で、大人と理由などを含めた自分の意見を述べて話合うことができる2名の生徒の姿勢がすばらしかった。

8月31日、心と生活のアンケートをオンライン授業希望生徒も含めて回収し、放課後に面談を実施し、該当保護者と共有し、当該生徒の不安解消に向けて取り組む。

9月11日、若木祭。3年生のみを体育館、1・2年生は教室でのオンラインで参観する。出演者と観客の一体感など例年以上の盛り上がりを見せる。

2学期も、コロナ感染症対策の学校の新しい生活様式に取り組みながら、これまで以上に3密を避けるなどしながら、感染リスクの高い教育活動を進めていたが、緊急事態宣言が9月末まで延長となりました。その結果、PTAバザーは中止し（「イワチュウ」好評）、体育祭は11月16日に延期する。9月末の箏曲部の「未来花コンサート」は辞退、10月の新人戦は中止となり、オンライン授業も延長となり、10月の中間テストを3年生のみと決定する。

10月11日、岩槻中駅伝部の練習開始。コロナ感染症の影響で、2週間の練習期間であったが、26日の市内駅伝大会では、男子48位、女子60位と健闘する（来年は6月に開始できれば…）。

10月21日、生徒会本部役員選挙。会長、副会長候補の演説に力が入る。

10月27・28日、つばみの日。岩槻、太田小学校を別日に分けて、見学のみの実施とする。

今、校長室で学校便り11月号を書いていると、パートごとに割り振られた教室から、歌声が聞こえてくる。その歌声は、日増しに音程が安定し、声に各生徒の自信が感じられてくる。多くの学校行事のなかで、1人ではできないもの、クラス40人が集まらないとできないもの、それが合唱である。一つになった歌声は、聴く者に感動を与える。10月30日の合唱祭では、その感動を少しですが、保護者と共有できました。各学年の優秀クラスは、1年4組、2年4組、3年3組でした。コロナ禍であるからこそ、一つひとつの行事を大切にし、一人ひとりの子どもが輝き、成長している。

実りの多い秋である。